

[執筆紹介] ※執筆順

松垣 伸次 (ひがき・しんじ)

編者・第1章

同志社大学大学院法学研究科博士課程(後期)中退／博士(法学)

現在、同志社大学法学部准教授

〔主要業績〕

『ヘイト・スピーチ規制の憲法学的考察——表現の自由のジレンマ』(法律文化社、2017年)、「Louis D. Brandeis 裁判官の表現の自由論」法と政治70巻1号(2019年)所収、「ヘイト・スピーチ解消法と政府言論——非規制的施策の可能性」福岡大学法学論叢63巻2号(2018年)所収

梶原 健佑 (かじわら・けんすけ)

第2章

九州大学大学院法学府博士後期課程単位取得退学／修士(法学)

現在、九州大学基幹教育院准教授

〔主要業績〕

「ヘイトスピーチ概念の外延と内包に関する一考察」比較憲法学研究27号(2015年)所収、「誤同定と社会的評価に関する覚書」山口経済学雑誌66巻5号(2018年)所収、「表現の自由の原理論」山本龍彦＝横大道聡編『憲法学の現在地』(日本評論社、2020年)所収

櫻庭 総 (さくらば・おさむ)

第3章

九州大学大学院法学府博士後期課程単位取得退学／博士(法学)

現在、山口大学経済学部准教授

〔主要業績〕

『ドイツにおける民衆扇動罪と過去の克服』(福村出版、2012年)、「Hate Speech and Criminal Law Frameworks in Japan」, in Shinji Higaki and Yuji Nasu (eds.), *Hate Speech in Japan: The Possibility of a Non-Regulatory Approach* (Cambridge University Press 2021)、金尚均編『ヘイト・スピーチの法的研究』(法律文化社、2014年)第7章および第8章。

成原 慧 (なりはら・さとし)

第4章

東京大学大学院学際情報学府博士課程単位修得退学／修士(社会情報学)

現在、九州大学法学研究院准教授

〔主要業績〕

『表現の自由とアーキテクチャ』(勁草書房、2016年)、「アーキテクチャの設計と自由の再構築」松尾陽編『アーキテクチャと法』(弘文堂、2017年)所収、「記念講演 AI時代の差別と公平性」反差別国際運動編『AIと差別』(反差別国際運動、2020年)所収

中村 英樹（なかむら・ひでき）

第 5 章

九州大学大学院法学研究科博士後期課程修了／博士（法学）

現在、北九州市立大学法学部教授

〔主要業績〕

「自治体におけるヘイトスピーチ解消に向けた動きについて」自治体法務研究61号（2020年）所収、
「ヘイトスピーチ集会に対する公の施設の利用制限——地方公共団体のガイドラインを中心に」北
九州市立大学法政論集46巻 1・2 合併号（2018年）所収、「基幹放送としてのコミュニティ放送の「公
共性」」北九州市立大学法政論集42巻 2・3・4 合併号（2015年）所収

奈須 祐治（なす・ゆうじ）

編者・第 6 章

関西大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了／博士（法学）

現在、西南学院大学法学部教授

〔主要業績〕

『ヘイト・スピーチ法の比較研究』（信山社、2019年）、「自己統治一表現の自由の「理論」と「法理」
の架橋とその隘路」駒村圭吾＝鈴木秀美編『表現の自由 I ——状況へ』（尚学社、2011）所収、「ジョ
ン・ポール・スティープンス——憲法解釈におけるコモン・ロー的方法論」山本龍彦＝大林啓吾編
『アメリカ憲法の群像——裁判官編』（尚学社、2020年）所収

村上 玲（むらかみ・れい）

第 7 章

大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了／博士（法学）

現在、淑徳大学コミュニティ政策学部助教

〔主要業績〕

「宗教批判の自由と差別の禁止（一）——イギリスにおける神冒瀆罪から宗教的憎悪扇動罪への転
換に関する考察」阪大法学62巻 5 号（2013年）所収、「宗教批判の自由と差別の禁止（二・完）——
イギリスにおける神冒瀆罪から宗教的憎悪扇動罪への転換に関する考察」阪大法学62巻 6 号（2013
年）所収、「欧州人権裁判所判例における宗教を冒瀆する表現に関する考察」淑徳大学大学院総合
福祉研究科研究紀要26号（2019年）所収

森口 千弘（もりぐち・ちひろ）

第 8 章

早稲田大学大学院法学研究科博士課程修了／博士（法学）

現在、熊本学園大学社会福祉学部准教授

〔主要業績〕

「良心・信仰への間接的な制約と保護」浅倉むつ子＝西原博史編『平等権と社会的排除：人権と差
別禁止法理の過去・現在・未来』（成文堂、2017年）所収、「わいせつ規制と思考の自由——わいせ
つ物単純所持規制を題材に」韓永學＝塚一美＝浮田哲編『権力 vs 市民的自由：表現の自由とメデ
ィアを問う』（花伝社、2018年）所収、『憲法を楽しむ』（共著）（法律文化社、2020年）

玉蟲 由樹 (たまむし・ゆうき)

第9章

上智大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学／修士（法学）

現在、日本大学法学部教授

〔主要業績〕

『人間の尊厳保障の法理——人間の尊厳条項の規範的意義と動態』（尚学社、2013年）、「基本権制約はなぜ比例的でなければならないのか」戸波江二先生古稀記念『憲法学の創造的展開 上巻』（信山社、2017年）所収、「人権保護のコンセプト」憲法問題29号（2018年）所収